

【施設状況】

グループ名称	保育園（芋井、青池、清野、西条）								
指定管理者名	10005	社会福祉法人長野市社会事業協会							
所管課	主	117000	保育・幼稚園課	副					
構成施設	1506	芋井保育園							
	1517	青池保育園							
	1499	清野保育園							
	1508	西条保育園							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・芋井保育園：鉄骨平屋造 392.40㎡、定員20人、保育室2室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 ・青池保育園：鉄骨平屋造 398.45㎡、定員20人、保育室2室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 ・清野保育園：鉄骨平屋造 493.02㎡、定員30人、保育室3室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 ・西条保育園：鉄骨平屋造 426.87㎡、定員40人、保育室3室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 								
施設設置目的	児童福祉法に基づき、「保育に欠ける」児童を保育するための認可保育所を設置する。								
基本方針等	長野市保育所設置及び使用条例、長野市特定児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例、長野市特定児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例施行規則、長野市保育所管理規則に定める規定に従う。								
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の実施 ・保育に関する相談、助言の実施 ・特別保育の実施 								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会			指定回数	4 回
指定期間	平成23年4月1日	～	平成28年3月31日	5年	管理運営開始日 平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。				評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)	入所児童が少ない園ではあるが、地域との連携により保育内容を充実させようと努力している。一時預かりの実施により、新規入所者の増加に努めている。前期末支払資金残高の取崩しなどにより不足分を補いながら、入所児童に影響が無いよう運営している。			
					4

2 施設の有効活用

No. 50

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H23	H24	H25	H26	対前年比	評価	
	芋井保育園	在園児数	人	21	18	20	18	90%	4
	青池保育園	在園児数	人	23	22	11	16	145%	
	清野保育園	在園児数	人	21	23	33	31	94%	
	西条保育園	在園児数	人	35	38	38	40	105%	
	計		人	100	101	102	105	103%	
							#DIV/0!		
(特記事項) 在園児数は、毎年度3月1日現在の人数(管外受託者含む)									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由					
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の実施 ・保育に関する相談、助言の実施 ・特別保育の実施 ・通園バスの運行(芋井保育園) 							
	自主事業	なし							
サービス維持・向上の取組み(広報等)	<ul style="list-style-type: none"> ・園開放や園行事について、子育て情報誌への情報提供と掲載 ・一時預かりの実施 ・チラシの配布 ・世代間交流の実施 								

3 利用者評価

No. 50

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法 その他	(2) 調査、会議等の内容 保護者等の意見や苦情を受ける「ご意見箱」を設置している。 (清野) 行事終了後や日々の登降園時に直接、保護者の意見、感想を聞いている。家庭数が少ないので、みんなに聞くようにしている。 (芋井・青池) アンケートを実施した。
利用者からの評価・苦情等		(3) 調査、会議等の結果 (芋井) アンケートの回収率は79% (青池) 12件中100%の回答あり	<p>(1) 良好とする評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの保育環境が改善されることにより、保護者から喜ばれたという意見も寄せられており、良好な保育園運営が行われていると評価できる。 (芋井) ・子ども達の成長の様子が色々な行事でわかりご指導いただいたお陰と感謝しています。 ・運動会が土曜日になり、お父さん祖父母など家族みんなで応援に行き、子ども達も頑張ることが出来、沢山の笑顔が見られて良かった。 <p>(2) 苦情・改善等の要望事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育に関する苦情は特になかった。 (芋井) ・12月のおたのしみ会と小学校児童センターのクリスマス会が同じ土曜日に重なってしまった。今後は、行事が重ならないように計画してほしい。 (青池) ・運動会の時期が10月上旬では寒いので9月中にできないか。 <p>《対応措置》</p> <ul style="list-style-type: none"> (芋井) 小・中学校の行事と重ならないように情報交換した。 (青池) 保護者には事情を説明し、了解してもらった。 	

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成26年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成26年度決算		平成25年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金 1,063,000 指定管理料 121,052,000 その他収入 1,308,000 計 123,423,000	利用料金 1,542,544 指定管理料 133,526,142 その他収入 4,535,849 計 139,604,535	歳入	保育料 21,667,470 計 21,667,470	歳入	保育料 18,304,720 計 18,304,720		
支出	人件費 97,820,000 設備管理費 1,630,000 備品購入費 1,628,000 修繕費 1,928,000 光熱水費 2,994,000 事業費 9,561,000 事務経費 5,369,000 本社経費 0 その他 2,493,000 計 123,423,000	人件費 98,246,082 設備管理費 1,622,327 備品購入費 3,004,890 修繕費 574,704 光熱水費 4,038,762 事業費 7,736,076 事務経費 3,053,355 本社経費 0 その他 2,993,141 計 121,269,337	歳出	指定管理料 133,526,142 補助金 760,320 計 134,286,462	歳出	指定管理料 107,553,007 計 107,553,007			
自主事業	収入 支出 自主事業損益 0	収入 支出 自主事業損益 0							
損益	0	18,335,198	差引	-112,618,992	-89,248,287				
人件費比率【人件費(賃金等)／平成25年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								81.0%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績 (うち市内雇用職員数) 園長4(4)人、主任1(1)、保育士13(13)人、調理員4(4)人 計22(22)人	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

6 危機管理体制 ※すべてで、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

No. 50

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	<input checked="" type="checkbox"/>	
	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか		
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価		
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。	4		
協定内容・指定管理者提案			追加された内容、未実施の内容及びその理由
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係団体と連携し、子育て支援の実施 ・地域の行事への参加 			

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	4	8	合計得点 72	
施設の有効活用	4	8		
利用者評価	4	16		
事業収支	4	8		
管理運営全般	3	12		
危機管理体制	3	12		
地域連携	4	8		

評価理由

・保育に関しては、特段苦情も出ていないことから、概ね現在の保育内容に満足していると判断でき、良好な保育園運営が行われている。
 ・子育て支援の情報誌・冊子へ情報を掲載するほか、園独自のチラシを地域に配布しPRを行ったり、一時預かりの実施により、新規入所の確保につながった。
 ・入所児童が少ない園であり、入所児童が減少する園もある中で、地域と連携しながら保育の充実を図っている。
 ・収支についても適切に運営されている。

取組み・改善案等
(施設所管課)

前年度からの課題	改善状況	改善案等（改善されていない場合）
・入所児童数の減少	・園独自のチラシを地域に配布しPR、園開放の実施、一時保育の受け入れを行い、入所に努めた	

次年度の目標・取組み等
(施設所管課)

・指定管理者が行う保育内容は、概ね良好であることから、引き続きこの状態で運営するものとする。
 ・必要に応じて使用できない遊具の撤去等を実施
 ・今後、入所児童が減少する園は、新たに策定した公立保育所の適正規模及び民営化等基本計画に基づき、保護者、地域関係者とともに、具体的な方向性を検討する。

指定管理者自己評価

B

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

青池

- ・地域の民生児童委員会と協力をして地域の子育て中の保護者と子育てについて話したり、悩みを聞く機会を作った。
- ・園開放に関して情報誌に掲載することで、地域以外からの参加があった。
- ・園開放を計画的に行い、園開放や行事の案内を配布することで参加者も増加し、途中入所で園児増につながった。
- ・子育て支援の場として一時保育を積極的に受け入れた。
- ・聾学校の児童を交流保育で受け入れることにより、子ども達の豊かな心の成長につながった。
- ・食の安心・安全について、できるだけ地産地消に努め、放射性物質検査を実施し、結果を掲示し保護者に知らせた。
- ・世代間交流で畑に野菜を植え、収穫したものを使い、子ども達と同じ食事を提供した。
- ・感染症に関しては、県や市の情報提供をし、職員においては、研修で得た知識を周知徹底し、予防に努めた。
- ・保育研修・発達障害研修に積極的に参加し、職員の資質向上に努めた。
- ・気になるお子さんに関しては保護者と面談をし、学校との連携に努めた。
- ・保護者に行事等のアンケートを実施をし、意見要望を聴くことができた。

西条

- ・地域活動事業として計画的に園開放をし、世代間交流・異年齢交流を行った。
- ・育児休暇を終えて仕事復帰する保護者のニーズに応え、年度途中の未満児(0歳児)の受け入れを積極的に行った。
- ・一時保育の受け入れも積極的に行い、子育て家庭の支援に努めた。
- ・豊かな自然環境を活かしておにぎり散歩をしたり、地域の施設(青垣公園・プール等)の利用をし幅広い保育の提供に努めた。
- ・4・5歳児は公共交通機関を使って遠足に行き、交通ルールやマナーを知る機会を設けた。

清野

- ・一時保育を積極的に受け入れ、定期的な利用者は入所に繋がった。里帰り出産の受け入れも行った。
- ・園開放を行い、各行事への参加を呼びかけ地域の未就園と交流できるよう異年齢交流を進めた。また、地域の民生委員の協力のもと、地域の老人と園児交流を持ち、世代間交流を行った。
- ・暴雪カーテンの一部取り換えにより、園舎が明るくなったと保護者より喜ばれた。
- ・豊かな自然環境を保育に活用し、のびのびと遊び楽しい保育を心がけた。

芋井

- ・園児確保に向けて、園開放の年間予定を情報月刊誌「モノミ」に掲載したり、地域にチラシをお願いして掲示した。
- ・未就園児保護者に園開放や行事へのご案内のおたよりを配布し、参加しやすいよう努めた。
- ・一時保育を積極的に受け入れ、保育園での様子を知っていただき入所に繋がった。
- ・芋井の豊かな自然環境や野菜の栽培等、地域の特性を活かした保育に取り組んでいることを園児募集のチラシに掲載し、支所・公民館・郵便局等に掲示した。
- ・未満児室の和式トイレが使い勝手が悪いので、様式トイレに改築したのでトイレを嫌がらずトイレトレーニングが速やかに出来るようになり保護者に喜ばれた。
- ・世代間交流事業では、地域のお茶会サロンやサテライト(ディサービス)に訪問し歓迎された。

② 業務の効率化に対する取組み

青池

- ・ストーブや加湿器の電源、部屋の電源をこまめにON, OFFすることで、節電、節水に努めた。・夏野菜を育て、給食で利用することで経費削減に努めた。・計画や記録の時間を時間内に実施できるよう、清掃時間を工夫した。

西条

- ・記録支援システムを導入し、日常業務の効率化を図った。
- ・職員間の連携を図り、行事の準備、会議等できるだけ短時間で済むように努めた。

清野

- ・現状と先を見通した計画をたて、実行する順番を決めて効率的に余裕を持った取り組みに心がけた。
- ・花や野菜の水くれは雨水タンクを利用し食育活動に活かした。
- ・野菜や調味料など安価な店で購入をし、経費削減に努めた。
- ・物品購入の際も同じ商品でも安価な物を調べて購入するようにし経費削減に努めた。
- ・テラスにグリーンカーテンを作り、少しでも涼しくなるようにした。

芋井

- ・雨水を利用し、花や野菜の栽培を行い、食育活動に活かしたり食材費の削減に努めた。
- ・野菜の値段が高い時期には安価な店で購入し経費削減に努めた。
- ・物品の購入の際には、業者のお勧めな特価の物やカタログでも安価な物を調べて購入し経費削減に努めた。
- ・節電、節水に努めた。
- ・グリーンカーテンに取り組み暑さ予防に努めた。
- ・冬季室内の温度調節をこまめに行い経費削減に努めた。
- ・職員の勤務体制を見直し、働きやすい職場環境に努めた。

③ その他

青池

- ・危機管理に伴い園内外、散歩コースの危険箇所、死角等確認をし、ヒヤリマップを作成した。

西条

- ・長野市防災課の職員に来ていただき、西条地区の地形の確認をし、おこりうる災害について勉強会を開いた。
- ・災害時の緊急避難方法・避難場所について再確認し保護者への周知に努めた。
- ・不適切な支援の一端に努め、虐待にあたると意識せずに掛けている言葉や保育内容について、園内研修で見直しを行った。

清野

- ・危機管理マニュアルを基に職員研修を行い、園児の安全管理に努めた。
- ・園内危険箇所を図式化し危険箇所の把握を行った。
- ・園内外研修の研修に積極的に参加し職員の資質向上を図った。

芋井

- ・遊具の点検や危険箇所、怪我、ヒヤリハット記録を見直し、園児の安全管理に努めた。
- ・毎月の避難訓練を実施し、火災、地震、土砂災害、不審者等危機管理マニュアルの見直しを行い、緊急の時に備えて来た。
- ・サービスの質の向上と職員の専門性を高めるため代替保育士の確保に配慮し、研修に参加しやすい環境作りに努めてきた。
- ・保護者の苦情や利用者への不適切な支援の一端に努めて来た。（保護者にアンケートを取り、保護者の要望に積極的に支援してきた）

(2) 指定管理者業務実施上の課題

青池

- ・定員20名にしたが、定員に満たない園児数の運営は、非常に困難である。・固定遊具が規格外のものなので、早急に一つでも規格内のものを設置してほしい。

西条

- ・園児の減少に伴い、未満児の途中入園を積極的に受け入れる事ができる体制づくりを要望していく。

清野

- ・下水道工事は完了しているが、トイレの水洗化ができていないため実施してほしい。
- ・建物が老朽化しており、耐震化工事をしてほしい。
- ・給食室の壁が老朽化しているため、貼り替えを希望する。

芋井

- ・園庭の遊具が規定に合わず、次々と撤去され遊ぶ遊具がない。遊具は高価で購入が出来ないため援助してほしい。
- ・園バスの傷みが激しい。冬場は道路に塩カルを多くまくため、腹部の裂罅が激しくメンテナンスに費用が掛る。安全な運行が出来ますよう検討してほしい。

(3) 次年度以降の取組み

青池

- ・作成したヒヤリマップを職員に周知徹底をし、安心安全な保育に努める。・民生児童委員と連携し、地域と関われる活動を実施する。・学校と連携し、卒園児のその後の様子や入学にあたっての保育園でやれること等情報交換したり交流をしていく。・園開放、一時保育、子育て支援の充実を図り、安心して子育てができるよう保護者支援を実施する。

西条

- ・よりよい保育の提供と、職員の質の向上を図るため、福祉サービス第三者評価を受審し、保育所の情報公開をする。
- ・耐震化工事に伴い、園児が安心・安全に使える園舎作りを要望していく。

清野

- ・今年度は定員30名のところ32名である。年長児12人が卒園すると園児数が大変減少する。今年度も途中入所を受け入れているが、途中入所、緊急入所、一時保育の受け入れ体制をとり、園児確保に繋げていく。
- ・園開放を積極的に行う。
- ・職員の資質向上に向けて、園内外の研修への参加を積極的に行う。
- ・事業協会の中長期計画により進める。

芋井

- ・今後も園児募集のチラシを作成し、地域の自治協議会との連携を図りながら、園児の確保に努める。
- ・情報月刊誌「モナミ」に芋井保育園の園開放の紹介を掲載しPRしていく。
- ・地域性を活かした保育内容の工夫と安全・安心・安定に配慮し充実した保育運営を行う。
- ・法人の中長期計画により、長野市の民営化計画に参加していく。

【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る